

活力ある町づくりを目指して 新たな決意と実行を

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なるご協力に厚くお礼申し上げます。ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期して、新春の気がみなぎるのを覚えます。

さて、昨年の世相を漢字一文字で表すと、「金」という文字でした。ノーベル医学生理学賞を山中伸弥教授が受賞したことや、ロンドン五輪で日本選手団が金メダルをはじめ、史上最多の38個のメダルを獲得したこと、それに世界一高いタワー「東京スカイツリー」が開業したことなど、数多くの金字塔が打ち立てられたことによるものですが、いずれも多く国民に感動と勇気と自信を与えてくれたと思います。

また町内出身のプロスポーツ選手の活躍もめざましく、プロ野球・横浜ベイスターズの高崎健太郎選手は自己最高の7勝をあげ、Jリーグ・セレッソ大阪の藤本康太選手は主将としてチームをまとめるなど、今季のさらなる活躍に期待がかかると思います。

ご承知のとおり昨年12月に衆議院議員総選挙が行われ、その結果、新たな政党の枠組みによって、国政の舵取りがなされることになりました。

今日、わが国では、選挙の際の争点ともなった「円高デフレ経済からの脱却に向けた景気対策」や「原発をはじめとしたエネルギー問題」、「アジア近隣諸国との領土問題や外交、安全保障の問題」、さらには「今後の農業の行方が懸念されているTPP参加の問題」など、数多くの政策課題が山積しています。新政権には、これらの問題の解決に向けた諸施策に大きな期待が寄せられています。

また、地方においても、少子高齢化に伴う人口減少や各種産業後継者不足の問題、それらに伴う耕作放棄地の問題、さらに国民皆保険の代表的な保険制度「国民健康保険」は、その制度上の問題もあって、保険者である全国の市町村の財政運営が危機的状況となっており、本町も例外ではありません。

そういった中、今年は町政運営2期目の折り返し点を迎えますが、町民の皆様が、この「甲佐町」に誇りと愛着を持ち「この町に住んでよかった」と心から言っていただけよう、まちづくりを強



甲佐町長 奥名 克美

く推し進めます。「甲佐町第6次総合計画」を基盤に据えて、平成25年においても、「最小の経費で最大の効果」を合言葉として、職員一体となって、行政に課されたその役割を再認識しながら、引き続き第2次行財政改革の一層の推進を図ってまいります。

そして、それらの改革によって財政基盤を安定させながら、①活力に溢れるまちづくり、②安心・安全なまちづくり、③健康と人を育むまちづくり、④協働で支えるまちづくりの4つの柱を基本とした33項目の政策目標の達成に向けて、今年も精一杯取り組んでまいります。

中でも、定住促進をさらに進めるための子育て支援の拡充に加え、今後の大きな政策テーマとして、東日本大震災に学び、「災害に強いまちづくり」を進めていく必要があると考えています。また

「清流緑川」を抱える本町としては、環境保全の立場から、生活排水の浄化にも力を入れなければなりません。

自治体の地域間競争が激化する中で、まだまだ課題は山積しておりますが、新しい年を迎えるにあたり、これからも初心を忘れることなく、気を引き締めて、町民の皆様から寄せられた大きな期待に応えるためにも、今後も強い信念とあふれる情熱で「甲佐町再生・セカンドステージ」を継続してまいります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい良き1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、議会に對しまして温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、国においては、衆議院議員総選挙が行われ、政権交代となり、今後の景気対策が期待されるところです。

本町をみてみますと、基幹産業である農業は長引く景気低迷、後継者問題による活力不足によって極めて厳しい状況です。

また、商店街の疲弊など、商工業も危

新年のご挨拶

甲佐町議会議長

本田 新

機能的状況にあると思っております。

農業を中心とした産業の振興や、緑川を生かした環境政策・子育て世代に優しい政策・教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みに期待するところです。

議会としましては、執行部とともに「活力あふれる町づくり」に向け、全力で取り組みます。

そして、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、日々研鑽に務め、開かれた議会づくりを目指していきたいと思っています。

今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年でありますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



認め、ほめ、励まし、 鍛え、伸ばす教育を

甲佐町教育長

赤星 眞照

「体」の育成を目指して、小・中学校、中学校が連携した小中一貫教育を、本町の教育活動に位置付け、進めています。

現在、小・中学校共に新しい学習指導要領が完全実施され、授業時間が増加し、学習内容も充実してきています。今後とも、子どもたちの「生きる力」を幅広く教育が充実するよう、小中一貫教育を核にして学校現場を支援してまいります。

さて、現在甲佐中学校の改築が平成25年の竣工を目指して進められています。今しばらく子どもたちには不便をかけることも多いかと思いますが、学校教育活動に支障がないように、学校と教育委員会が一体となって子どもたちの確かな学びを進めていきたいと考えています。

今後とも、心豊かに健やかに子どもたちが成長するよう、町部局と一体となつて甲佐の教育を推進してまいります。

新年明けましておめでとうございます。学校教育をはじめ社会教育において、地域の方々のご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

21世紀を担う甲佐っ子が、「花と緑と鮎の町」と表現される甲佐の恵まれた自然環境、そして豊かな人材を生かし、心身ともに健やかな子どもに育つよう、甲佐の教育を進めているところです。

そのために、昨年度より「認め、ほめ、励まし、鍛え、伸ばす」を教育活動の行動指標として、「豊かな心」の育成、「確かな学力」の育成、そして「健やかな

